

前回の論点等に対する事務局の考え

1 総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針について

- 【資料2】として、各委員から出された意見に対する市の考え方をお示するとともに、意見内容をもとに修正可能な部分については【資料3】のとおり総合計画評価報告書(案)を修正。
- 前回の議論結果や、意見の種類・内容等から事務局が意見を整理し【資料3】に「総合計画審議会意見」を記載。
- 「総合計画審議会意見」は、【資料2】における「総計審意見」の列に「○」を付したものを事務局(案)として抜粋して作成。「×」としている意見でも、追加すべきものがあれば、今後追加していく想定。

【資料2】

通しNo.	発言	委員名	該当箇所	該当箇所(詳細)	委員意見	担当所管	分類	内部評価修正	総計審意見	掲載ページ×とした理由	
1	意見書①	別所	3目標の全体	-	総括の記述とKPIとの関係(結びつき)は市民の健康寿命については重点を置いているが、健康寿命の延伸を促すべく基礎データがありませんし、仮に延伸が促されたとしても、それが住み続けたいと思う人の割合を具体的にどの程度増やすことができるかについても検討がされておらず、総括の記述の結びつきが明確でなく、適切な評価を行うとはかなり難しいものとなっていると考えています。皆さんが努力を積み重ねていることは総括文から伺うことができますので、記載の一段の工夫が必要ではないでしょうか。	3目標、重点施策、施策・詳細施策の目標との相関性(結びつき)については、令和5年度から開始した本総合計画評価を行った結果の主な課題として捉えており、今後の計画策定時等の検討事項とさせていただきます。	企画政策課	感想・謝意など	×	○	P2
2	意見書①	奥	3目標の全体	-	総括の記載において、昨年度の総合計画審議会意見を踏まえた改善がなされており、KPIを意識した今後の方向性に言及するとともに、まちづくりの目標に対応したものである。			×	○	P2	
9	第2回協議会	*****	重点全般	-	防災アプリのダウンロード数等、前年度の総合計画審議会意見のうち、取組内容欄で記載が可能なものは対応願います。		意見	○	×	P10	
10	第2回協議会	*****	重点全般	-	設定したKPIの設定根拠について記載いただきたい。		意見		×	既に対応済のため	

「総計審意見」に「○」があるものは「総合計画審議会意見」の欄に意見を記載(意見のうち、赤字部分を抜粋して記載)

「内部評価を修正」に「○」があるものは意見の主旨にそって【資料3】を修正

<項目ごとの意見件数>

※()内数字は「○」の数

- まちづくりの目標 8 (5)
- 重点施策 69 (20)
- 施策・詳細施策 76 (26)
- 推進エンジン 8 (4)
- その他 10 (8)
- 合計 171 (63)

【資料3】

目標 (KPI) 名	基準値 (基準年)	目標値 (目標年)	方向性	実績値			目標達成率
				R4	R5	R6	
ファミリー・サポート・センターの支援会員数	345人 (令和3年度)	420人 (令和6年度)	↑	254人	245人	-	0%

取組内容

- ・児童扶養手当受給者等を対象としたファミリー・サポート・センター利用補助の開始
- ・「ファミサポ大学」(援助活動や会員自身の暮らしに役立つ知識を学ぶ場)の開始
- ・小児医療費助成の所得制限を廃止(令和5年10月診療分から)、対象年齢を18歳まで拡大(令和6年10月診療分)からの条例改正
- ・子育てを社会全体で支える環の形成や子育て情報提供の充実のため、子育て支援センターや地域子育てひろばの運営、地域SMSの運用、児童手当や児童扶養手当の支給、母子家庭等の自立支援等の実施
- ・出産応援給付金及び子育て応援給付金の申請手続きをオンライン化

目標進捗状況

総合評価

C

子育て支援センターの運営や児童手当の支給など、子育て支援施策を着実に実施するとともに、地域子育てひろばや児童遊園地など、地域社会と連携し、社会全体で子育てを支援する取組を進め、ファミサポ利用助成の開始やファミサポ大学の開始、小児医療費助成制度の見直しなど、子育て支援の充実を図ることができた。ファミリー・サポート・センターの支援会員数の増加に向けて、KPIが減少している要因分析の検討も含め、引き続き取組む必要があります。

今後の展開

引き続き子育て支援の充実を図るとともに、必要な方に支援が届くよう、子育て支援団体等との連携や、本市の子育て支援策の周知に取り組みしていきます。

総合計画審議会意見

多くの点でKPIと総括の記述の結びつきが明確でなく、適切な評価を行うとはかなり難しいものとなっている。努力を積み重ねていることは総括文から伺えるので、記載の一段の工夫が必要である。

総括の記載において、昨年度の総合計画審議会意見を踏まえた改善がなされており、KPIを意識した今後の方向性に言及するとともに、まちづくりの目標に対応したものとなっている。

観光消費費が目標値を上回っていることに対する「総括」の記載において、例えばイベント開催、TOTOCOやガンダム・MFゴーストなどのアニメを活用した地域独自の特色ある取組が多くある中で、今後の実績の上積みのためにも、もう少し分析が必要である。

着実に数値は向上しているが、極めて高い目標値を達成するためには、小田原市単独で目標を設定するのではなく、近隣市町や県などと連携して広域的、戦略的に取り組む課題と考える。

豊かな環境の継承のKPI(二酸化炭素排出量の削減率)については、市民が身近に捉えづらい。市民の生活の中で行えるKPIの設定があれば、市民自らの努力に繋がる。

「総計審意見」に「×」となっているものは、意見を記載しない理由を隣のセルで明記

- (分類)
- 既に対応済のため
 - 個別事業に関する内容であるため
 - 感想・謝意などであるため
 - 質問であるため
 - 要望・提案などであるため
 - KPI・目標に関することのため

2 その他の修正について

- 昨年度の小田原市総合計画審議会意見を踏まえ、累計の目標値のうち、令和5年度実績がすでに令和6年度の目標を達成しているものについては、令和6年度目標値を上方修正(一部を除く)

KPI目標値修正案

累計数値のうち、令和5年度実績が目標達成率100%となっているため、**新たな目標値**を設定するもの

	目標(KPI)名	基準値	目標値	R5実績値	新目標値	目標値の算出根拠
施策14 農林業 詳細施策1 農業の担い手育成と交流体験の推進	新規就農者数	63人 (R2)	87人	95人	103人	令和5年度の実績値95人に、年間の目標値である8人を加えたもの R5実績値(95人) + 単年目標値(8人) = 103人
施策23 住環境の形成 詳細施策1 住宅ストック活用の促進	市に登録された住宅ストックの利活用件数	2件 (R2)	6件 (R6)	6件	10件	新規施策の効果による登録件数が増加しており、今後も数値の伸びを期待 R5実績値(6件) + 施策効果(4件) = 10件
推2 公民連携・若者女性活躍 詳細施策2 若者・女性活躍の推進	民間企業と職員による市政課題解決の場開催件数	—	3件 (R6)	3件	4件	令和5年度の実績値3件に、年間の目標値である1件を加えたもの R5実績値(3件) + 単年目標値(1件) = 4件
推3 デジタルまちづくり 詳細施策3 スーパーシティ・デジタル田園都市国家構想等の推進	データ連携取扱いサービス件数	—	10件 (R6)	20件	20件	令和5年度実績が当初設定した令和6年度目標を上回り達成 令和6年度に新規にデータ連携を予定しているサービスが無いため、 目標値は実績値と同じ 20件 に修正